

# 安曇野屋敷林 サポーター通信

第15号

発行日/2015年11月21日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド担当 ☎ 0263-71-2053

<http://keikan-azumino.net>

## 「武蔵野市 屋敷林・緑化の視察」のご報告

リーダー 場々洋介

平成27年11月13日(金) AM8:00 マイクロバスで、武蔵野市に向かう。今回はそのご報告とさせていただきます。



市役所で

武蔵野市の緑のまち推進課長の荻野さんとは、2度にわたる屋敷林フォーラムでパネリストをしていただいた縁で、心やすく今回の視察となりました。市の緑に対する強い思いや行政上の工夫については前々から感心していました。きっかけは3月にお会いしたとき、こんな話を聞いたことでした。「前市長の土屋代議士は民有地の緑などを伐採する現場をみつけて、職員を叱るので。市長は民有地の緑も公共の財産だと考えているからです」

この話を聞いたとき大変感心し、来年3月に計画されている「屋敷林 フォーラム 2016」に土屋代議士を講師としてお招きすることになりました。今回は実際に市内の緑化状況を見てみたいと思い、このツアーを計画しました。参加者はプロジェクトメンバーとサポーター、そして務台俊介氏を含み17名の参加者でした。



参加者

武蔵野市は人口約14万人、面積は安曇野市の1/30 非常に人口密度の高い市です。かつてはゼロ戦を製造していた中島飛行機が市内の中心にあり、その跡地の都立武蔵野公園や成蹊大学や井の頭公園などの大きな緑となっている。市全体の緑被率は昭和47年当時33%であったが、平成6年には23%に達しその後の努力で現在25%にアップしている。そのうち40%が公有地で60%が民有地です。市は既存樹木を保存活用するため民有地を購入して、ミニ公園を沢山見学することが出来ました。



開発地の緑



生け垣



電線と並木



桜並木

また、保存樹木が810本（10m以上の立木）があり、6000円/年の補助があります。

また素晴らしい並木が市内にたくさんありました。

市役所の前の1kmに及ぶ桜の並木は4月には素晴らしい景観となると思います。電線が枝と枝の間をとおり本当に木を大切にしている市民の民意の高さを感じました。この並木は昭和35年ごろに植えられたそうです。昭和46年に「長期計画」の重点施策として緑のネットワーク計画が始まりました。現在の緑地はその後の成果といえると思います。ケヤキ並木としては武藏境駅前や成蹊大学周辺にあります。市内の街路樹マップを見ていても、安曇野には並木というものがあるのだろうかと、疑問を持ってしまします。

武藏野市には多くの建築物があり、安曇野の様に北アルプスや神社の社叢 屋敷林 河畔林などはそう多くもありません。しかし高度成長期に無くなってしまった緑に対する強い思いを持ち続けています。今回の視察で感じたものは、市の制度も進んでいますが、緑に対する市の姿勢や民意の高さを感じた意義ある視察でした。



マンションと公園



まちなみもケヤキ



ケヤキの森



農業ふれあい公園



住宅地の緑



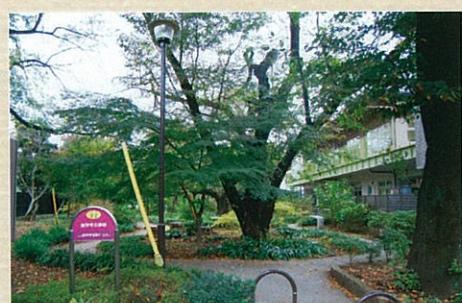
農園と長屋門



団地前の緑



玉川上水



購入された民有地



雑木林(仙川緑地)